

# STREAM道

## 第1回 「リアルイベントと連動した生中継の魅力」

©川井拓也 (ヒマナイス)  
Twitter アカウント / @himanainu\_kawai

### 今月の注目ストリーム

#### 「村上隆・深夜に大暴れ」

3月23日、この日はたくさんの注目ストリームが配信された。来日したティム・バートン監督とジョニー・デップさんの来日イベントや、のべ14万人が視聴した「爆笑裏マスメディア〜テレビ・新聞の過去〜」、そして深夜に行われた芸術家の村上隆さん (@takashipom) のストリームも話題になった。



### 面白中継を見逃さないために 気になる人は Twitter で フォローしておこう!

UstにはTwitterとの連携機能があり、中継の発信者は、これを使って中継を始めたことを宣伝できる。中継が面白ければクチコミで視聴者が雪だるま式に増える。気になる人を見つけたら、Twitterでフォローしておくこととステキな生中継に出会えるチャンスが増えるはず。

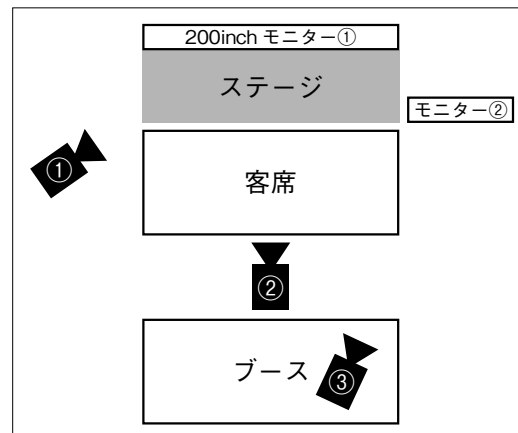
### イベントを Ust 配信! ネットユーザーの参加がイベントをさらに盛り上げる



この日行われたのはトヨタ自動車「パッソ」のキャンペーンイベント。六本木ミッドタウンで開催された。東京 FM で連動番組が放送された他、Ust でもイベントの様相を生中継。ゲストにタレントの杉本彩さんとはな愛さんが参加し、質疑応答コーナーでは Ust 視聴者からの質問もリアルタイムにフィードバックされた。



### この日の機材配置



今回のイベントにはプロの撮影クルーが入っていたため、彼らがスイッチングした映像を LINE でもらったもの(カメラ①、②)と、Tweet Bubbles で Ust 視聴者からのコメントを写したモニター②の画面を撮影したカメラ③の映像をビデオミキサー・ローランド V-8 で切り替えながら配信を行なった。音声も PA から LINE でもらったものを配信した。

### Twitter のコメントや質問も 即座にフィードバックできる仕組みを導入



Ustream の視聴者のコメントが出演者や来場者にも上の写真のような形で見られる「Tweet Bubbles (<http://tweetbubbles.net/>)」というソフトを使用。さらに今回、特別に不適切なコメントは表示させないようにプログラミングするとともに、人力での検閲を組み合わせて運用した。



ユーストリームは生中継の動画を楽しみながらツイッターのソーシャルタイムラインであーだこーだと会話するのが魅力のメディアだ。特にイベントをそのまま中継することでその会場にいる人だけでなく、より多くの人にその様子を伝えることができる。このことを私は AR (拡張現実) をもじって「現実拡張」と呼んでいる。

たとえばイベントの会場に 100 人が詰め掛けているとしよう。そのままイベントをすれば内容は 100 人に伝わる。ここにユーストリームによる生中継を加えると、その場所に物理的に行くことができない人やイベントの告知を見逃してしまった人が、ツイッター経由で見に来てくれる可能性が生まれてくる。

会場に 100 人、生中継で 100 人が見れば、単純に倍の人にイベントを見てもらえたことになる。内容が面白ければ倍どころかささらに多くの人にそのイベントを知ってもらう機会が生まれる。ユーストリームを使って生中継をしようとイベントという現実をデジタル技術で拡張できるのだ。

### イベント + Ust で 相乗効果を生む

ヒマナイスがストリームディレクションを担当した「Passo ハナ女子大学 - ハナ女・春のオープンキャンパス in 東京ミッドタウン」は、もともと開催が決まっていたイベントにユーストリームによる生中継を加えた事例である。タレントが出演し女子大の授業を模したインタビューフェイズで講演を行うこのイベントに生中継を加えるために、我々はユーストリームとツイッター以外に 2 つのサービスを活用した。

そのサービスとは FMLE と LiveJam である。FMLE とは Adobe Flash Media Live Encoder のこと。動きが激しいイベントの場合、なめらかな動きにするためにエンコーディングソフトとして FMLE は欠かせない。

マシンはウインドウズ XP の 3GBメモリ Core2Duo 18Ghz の ThinkPad X61 を使用。それほど高速なマシンではないが、状態の良い同一仕様の中古を 2 台新たに購入しユーストリームに必要な機能だけをインストールした。1 台は中継用メイ

ン、もう 1 台はバックアップ機として別回線から中継を走らせた。

万が一、会場側の回線が落ちた場合に、別回線の中継が生きていければ視聴者をソーシャルストリームを通じて移動させられるからだ。映像は会場のデジタルサインージに送出される映像信号をコンポジットでもらい、そこにユーストリームチーム側のパナソニック DVC30 による映像をローランド V-8 でスイッチング。音はミキサー卓からキャノンでもらいローランドの UA4FX で USB に変換し入力した。

ユーストリームのツイッターにはイベント専用のハッシュタグを設定。業務用の「TweetBubbles システム「LiveJam」」を使い、会場のデジタルサインージと企業サイトに表示するハッシュタグ付の関連つおやきはリアルタイムに検閲を行なった。

結果、会場 50 人に対して 60 倍にあたるのべ 3000 人が生中継を視聴するイベントとなり「現実拡張」をすることができた。免許がなくても全世界に中継できるユーストリームはこれからイベントのあり方を大きく拡張していくだろう。